



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月8日

上場会社名 株式会社MARUWA 上場取引所 東 名
 コード番号 5344 URL <https://www.maruwa-g.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神戸 俊郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 山口 大介 TEL 0561-51-0841
 定時株主総会開催予定日 2026年6月19日 配当支払開始予定日 2026年6月22日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月12日
 決算補足説明資料作成の有無： 有
 決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

百万円未満切捨

1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	74,476	3.7	24,976	△7.2	26,321	△2.6	18,163	△5.6
2025年3月期	71,849	16.7	26,914	35.9	27,033	28.0	19,242	26.5

(注) 包括利益 2026年3月期 20,550百万円 (4.4%) 2025年3月期 19,677百万円 (23.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	1,472.03	—	13.2	17.3	33.5
2025年3月期	1,559.45	—	16.2	20.4	37.5

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 -百万円 2025年3月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	162,691	147,262	90.5	11,933.87
2025年3月期	142,285	127,854	89.9	10,361.04

(参考) 自己資本 2026年3月期 147,262百万円 2025年3月期 127,854百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	16,933	△21,757	△1,216	66,986
2025年3月期	25,351	△7,682	△1,512	71,568

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	47.00	—	47.00	94.00	1,159	6.0	1.0
2026年3月期	—	51.00	—	51.00	102.00	1,258	6.9	0.9
2027年3月期(予想)	—	55.00	—	55.00	110.00	—	—	—

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	39,400	19.0	13,500	24.5	—	—	—	—	—
通期	84,100	12.9	29,700	18.9	—	—	—	—	—

(注) 経常利益以下の各利益につきましては、主に為替要因で変動することが想定され、現時点では見通しが困難なことから、具体的な金額の予想は開示しておりません。

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年3月期	12,372,000株	2025年3月期	12,372,000株
2026年3月期	32,114株	2025年3月期	32,112株
2026年3月期	12,338,999株	2025年3月期	12,339,106株

(参考) 個別業績の概要

2026年3月期の個別業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	56,138	3.4	20,901	△6.6	24,956	8.8	18,192	10.0
2025年3月期	54,290	18.2	22,371	36.7	22,935	17.8	16,544	13.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	1,474.40	—
2025年3月期	1,340.85	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	139,821	127,441	91.1	10,327.58
2025年3月期	122,238	110,376	90.3	8,944.73

(参考) 自己資本 2026年3月期 127,441百万円 2025年3月期 110,376百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13
4. その他	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度は、各国の金融政策や、米国と各国間の関税の動向が意識されたほか、中東・ウクライナ情勢を始めとした地政学リスクが懸念される状況が継続しました。ハイテク市場においては、生成AI関連の幅広い分野での技術進化や投資の活発化が見られました。

そのような状況の中、当社グループでは、車載関連で市況が弱含み、半導体関連で下期に見込んでいた汎用メモリ向けの回復に期ずれが見られた一方、次世代高速通信関連が高水準に推移し業績に寄与し、売上高は前期比3.7%増の74,476百万円、営業利益は前期比7.2%減の24,976百万円、経常利益は前期比2.6%減の26,321百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比5.6%減の18,163百万円となりました。

また、期末には、汎用メモリ向けの回復の遅れ、一部新製品の立ち上げ時に歩留まりの低下が発生しておりますが、いずれも解消の目処が立っております。

なお、第4四半期は次世代高速通信関連の次期モデルの立ち上げにより大幅な増産が開始されたことにより、売上、利益ともに四半期として過去最高の業績となりました。

中東情勢等の地政学リスクにより不透明な経済情勢が継続されますが、当社グループは2028年度売上高1000億円の中期計画に向け、着実に体制強化に注力してまいります。

セグメント別の売上高と利益の状況は次のとおりです。

①セラミック部品事業

当事業は、車載関連で市況が弱含み、半導体関連で下期に見込んでいた汎用メモリ向けの回復に期ずれが見られた一方、次世代高速通信関連が通期で高水準に推移したことに加え、第4四半期から次期モデルの立ち上げにより大幅な増産が開始されました。

以上の結果、売上高63,797百万円（前期比2.1%増）、セグメント利益24,573百万円（前期比9.3%減）となりました。

②照明機器事業

当事業は、2030年100%LED化の政府目標に向けたLED需要の増加やオフィス改修需要の高まりと、高付加価値のオフィス向け照明や公共のLED照明導入案件が好調に推移しました。また、高級新築マンション市場向けのハイエンド照明が活況に推移しました。

以上の結果、売上高10,679百万円（前期比14.1%増）、セグメント利益2,141百万円（前期比49.0%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は103,175百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,885百万円増加いたしました。これは主に原材料及び貯蔵品が増加したことによるものです。固定資産は59,515百万円となり、前連結会計年度末に比べ17,520百万円増加いたしました。これは主に建設仮勘定が増加したことによるものです。

これらの結果、総資産は162,691百万円となり、前連結会計年度末に比べ20,405百万円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は14,856百万円となり、前連結会計年度末に比べ923百万円増加いたしました。これは主に買掛金が増加したことによるものです。固定負債は571百万円となり、前連結会計年度末に比べ73百万円増加いたしました。これは主に繰延税金負債が増加したことによるものです。

これらの結果、負債合計は15,428百万円となり、前連結会計年度末に比べ997百万円増加いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は147,262百万円となり、前連結会計年度末に比べ19,408百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益18,163百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は90.5%（前連結会計年度末は89.9%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ4,581百万円減少し、66,986百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動から得られたキャッシュは16,933百万円となり、前期比8,418百万円の減少となりました。

投資活動に使用したキャッシュは21,757百万円となり、前期比14,074百万円の増加となりました。

財務活動に使用したキャッシュは1,216百万円となり、前期比296百万円の減少となりました。

(4) 今後の見通し

2027年3月期の業績見通しにつきましては、中東情勢等の地政学リスクにより今後の経済情勢が不透明なことから、リスクを勘案し、慎重な見通しとしております。

現時点の当社の市場動向の認識及び社内の状況は下記の通りです。

情報通信関連事業は、次世代高速通信関連の次期モデル向けで、一層の強い需要が期待されます。大幅な需要増加に対応するため、新たに瀬戸工場新棟にて生産体制の強化を図ってまいります。

車載関連事業は、新エネルギー車市場の成長に減速感が見られる中で、差別化製品によるシェアのさらなる拡大により成長を図ってまいります。併せて生産性の改善やAIの活用により、収益改善に注力してまいります。

半導体関連事業は、汎用メモリ関連の需要が下期より本格的に拡大する見通しです。旺盛な需要に応えるため、三春工場新棟にて生産体制の強化を図ってまいります。

産業機器関連事業は、パワーモジュール関連が底堅く推移するほか、医療関連の新規製品の需要が増加する見通しです。

照明機器関連事業は、2030年100%LED化の政府目標に向けたLED需要の増加が見込まれ、公共・ハイエンド照明ともに好調な業績が期待されます。

2027年3月期の配当は、過去最高の業績を見通していることを踏まえ、前期同様の8円の増配とし、1株当たり110円を予定しております。

※為替レートにつきましては、1ドル153円を想定しております。

2027年3月期第2四半期（累計） 連結業績予想

(単位：百万円)

	当期実績 (2026年3月期)	次期予想 (2027年3月期)	増減率 (%)
売上高	33,115	39,400	19.0
営業利益	10,843	13,500	24.5

2027年3月期通期 連結業績予想

(単位：百万円)

	当期実績 (2026年3月期)	次期予想 (2027年3月期)	増減率 (%)
売上高	74,476	84,100	12.9
営業利益	24,976	29,700	18.9

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは日本基準により連結財務諸表を作成しております。なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を踏まえ、検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	71,793	67,185
受取手形	139	47
売掛金	12,420	13,624
電子記録債権	1,319	1,505
商品及び製品	2,645	2,309
仕掛品	3,803	5,354
原材料及び貯蔵品	5,398	8,631
その他	2,832	4,525
貸倒引当金	△62	△8
流動資産合計	100,290	103,175
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,996	19,634
機械装置及び運搬具（純額）	13,039	14,722
土地	5,047	5,750
建設仮勘定	5,474	16,351
その他（純額）	798	819
有形固定資産合計	39,356	57,277
無形固定資産		
その他	444	438
無形固定資産合計	444	438
投資その他の資産		
投資有価証券	482	110
繰延税金資産	639	621
投資不動産（純額）	920	907
その他	152	160
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,194	1,799
固定資産合計	41,995	59,515
資産合計	142,285	162,691

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,965	4,254
電子記録債務	840	697
未払法人税等	4,929	3,942
賞与引当金	1,191	1,170
役員賞与引当金	149	133
その他	3,856	4,659
流動負債合計	13,933	14,856
固定負債		
繰延税金負債	131	213
その他	366	358
固定負債合計	498	571
負債合計	14,431	15,428
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,646	8,646
資本剰余金	12,103	12,170
利益剰余金	105,705	122,660
自己株式	△198	△198
株主資本合計	126,257	143,279
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39	53
為替換算調整勘定	1,556	3,930
その他の包括利益累計額合計	1,596	3,983
純資産合計	127,854	147,262
負債純資産合計	142,285	162,691

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	71,849	74,476
売上原価	32,377	35,318
売上総利益	39,472	39,158
販売費及び一般管理費	12,558	14,182
営業利益	26,914	24,976
営業外収益		
受取利息	331	616
受取賃貸料	126	112
為替差益	—	561
その他	110	178
営業外収益合計	567	1,468
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	382	—
投資不動産賃貸費用	53	57
株式報酬費用消滅損	1	41
その他	10	23
営業外費用合計	448	122
経常利益	27,033	26,321
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	—	147
補助金収入	2,592	42
特別利益合計	2,592	191
特別損失		
固定資産除売却損	105	37
固定資産圧縮損	2,360	42
その他	—	14
特別損失合計	2,466	93
税金等調整前当期純利益	27,159	26,418
法人税、住民税及び事業税	8,069	8,220
法人税等調整額	△152	34
法人税等合計	7,917	8,255
当期純利益	19,242	18,163
親会社株主に帰属する当期純利益	19,242	18,163

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	19,242	18,163
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△131	13
為替換算調整勘定	567	2,373
その他の包括利益合計	435	2,386
包括利益	19,677	20,550
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	19,677	20,550

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	8,646	12,031	87,573	△210	108,042
当期変動額					
剰余金の配当			△1,110		△1,110
親会社株主に帰属する当期純利益			19,242		19,242
自己株式の取得				△1	△1
自己株式の処分		72		13	85
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	72	18,131	11	18,215
当期末残高	8,646	12,103	105,705	△198	126,257

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	171	989	1,161	109,203
当期変動額				
剰余金の配当				△1,110
親会社株主に帰属する当期純利益				19,242
自己株式の取得				△1
自己株式の処分				85
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△131	567	435	435
当期変動額合計	△131	567	435	18,650
当期末残高	39	1,556	1,596	127,854

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	8,646	12,103	105,705	△198	126,257
当期変動額					
剰余金の配当			△1,209		△1,209
親会社株主に帰属する当期純利益			18,163		18,163
自己株式の取得				△6	△6
自己株式の処分		66		7	74
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	66	16,954	0	17,021
当期末残高	8,646	12,170	122,660	△198	143,279

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	39	1,556	1,596	127,854
当期変動額				
剰余金の配当				△1,209
親会社株主に帰属する当期純利益				18,163
自己株式の取得				△6
自己株式の処分				74
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	13	2,373	2,386	2,386
当期変動額合計	13	2,373	2,386	19,408
当期末残高	53	3,930	3,983	147,262

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	27,159	26,418
減価償却費	4,690	5,334
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△71	△76
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△147
固定資産除売却損益 (△は益)	105	35
固定資産圧縮損	2,360	42
受取利息及び受取配当金	△340	△627
支払利息	0	0
補助金収入	△2,592	△42
売上債権の増減額 (△は増加)	2,248	△1,043
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,001	△4,257
仕入債務の増減額 (△は減少)	△944	1,261
その他	409	△1,355
小計	31,023	25,542
利息及び配当金の受取額	340	627
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△6,011	△9,235
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,351	16,933
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	—	48
有形固定資産の取得による支出	△9,912	△22,474
有形固定資産の除却による支出	△74	—
無形固定資産の取得による支出	△185	△50
投資有価証券の取得による支出	△219	△42
投資有価証券の売却による収入	—	580
補助金の受取額	2,692	142
その他	16	38
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,682	△21,757
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△400	—
自己株式の取得による支出	△1	△6
配当金の支払額	△1,110	△1,209
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,512	△1,216
現金及び現金同等物に係る換算差額	398	1,458
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	16,554	△4,581
現金及び現金同等物の期首残高	55,013	71,568
現金及び現金同等物の期末残高	71,568	66,986

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品・サービス別の事業本部を置き、各事業本部は、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「セラミック部品事業」及び「照明機器事業」の2つを報告セグメントとしております。

「セラミック部品事業」は、電子部品やセラミック基板、半導体製造装置に関連する製品等を生産・販売しております。「照明機器事業」は、従来照明機器のほかLEDを使用した照明機器を生産・販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額(注)1	連結財務諸表計上額(注)2
	セラミック部品事業	照明機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	62,487	9,362	71,849	—	71,849
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7	37	45	△45	—
計	62,494	9,400	71,895	△45	71,849
セグメント利益	27,086	1,437	28,524	△1,609	26,914
セグメント資産	130,554	9,044	139,598	2,687	142,285
その他の項目					
減価償却費	4,461	96	4,557	132	4,690
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	8,854	427	9,282	369	9,652

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,609百万円には、セグメント間取引消去53百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,663百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント資産の調整額2,687百万円は各報告セグメントに配分していない全社資産です。その内容は、親会社の余資運用資金（定期預金等）、投資有価証券等、及び管理部門にかかる資産であります。

4. 減価償却費の調整額132百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費であります。

5. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額369百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産の増加額であります。

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額(注) 1	連結財務諸表計上額(注) 2
	セラミック部品事業	照明機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	63,797	10,679	74,476	—	74,476
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9	7	17	△17	—
計	63,806	10,687	74,493	△17	74,476
セグメント利益	24,573	2,141	26,714	△1,738	24,976
セグメント資産	149,102	10,244	159,346	3,344	162,691
その他の項目					
減価償却費	4,989	146	5,135	198	5,334
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	20,948	522	21,470	1,236	22,707

- (注) 1. セグメント利益の調整額△1,738百万円には、セグメント間取引消去90百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,828百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. セグメント資産の調整額3,344百万円は各報告セグメントに配分していない全社資産です。その内容は、親会社の余資運用資金(定期預金等)、投資有価証券等、及び管理部門にかかる資産であります。
4. 減価償却費の調整額198百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費であります。
5. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額1,236百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産の増加額であります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	10,361.04円	11,933.87円
1株当たり当期純利益	1,559.45円	1,472.03円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	19,242	18,163
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	19,242	18,163
期中平均株式数(千株)	12,339	12,338

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

①利益配分に関する基本方針

利益配分は、株主の皆様への安定的な配当継続を重視するとともに、新たな成長分野への機動的な設備投資や研究開発の維持・強化及びESG・SDGsへの取組みを充実させることを基本方針としております。

②当期の剰余金の配当

当期の期末配当金は、1株当たり51円の予定です。

よって年間配当は、中間配当金を加えた1株当たり102円となります。

③次期の剰余金の配当

次期の利益配分につきましては、100年に一度の変革期の中で、ESGやSDGsに注力した機動的な取組みや将来を見据えた積極的な研究開発による企業価値の向上を重視し、株主還元については、8円の増配を決め、年間配当として1株当たり110円（中間配当として1株当たり55円、期末配当として1株当たり55円）を予定しております。